

# JIS

## ゴム－熱分解ガスクロマトグラフ法による 同定（単一ポリマー及びポリマーブレンド）

JIS K 6231 : 2004

(ISO 7270-1 : 2003)

(JRMA/JSA)

(2008 確認)

平成 16 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京電機大学
(委員)	江 村 智 之	日本プラスチック工業連盟
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	木 原 幸 弘	社団法人日本化学工業協会
	桐 村 勝 也	社団法人日本塗料工業会
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	古 川 哲 夫	財団法人日本消費者協会
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	吉 田 博	昭和シェル石油株式会社

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 10.3.20 改正：平成 16.3.20

官 報 公 示：平成 16.3.22

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 丁目 5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会 (JRMA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6231:1998** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 7270-1:2003, Rubber—Identification of polymers (single polymers and blends)—Pyrolytic gas chromatographic method** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

## 目 次

	ページ
序文 .....	1
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 原理 .....	2
4. 適用できる単一ポリマーとポリマーブレンド .....	2
4.1 M グループ .....	2
4.2 O グループ .....	2
4.3 Q グループ .....	2
4.4 R グループ .....	2
4.5 ポリマーブレンド .....	3
5. 試薬 .....	3
5.1 抽出溶剤 .....	3
5.2 キャリヤーガス .....	3
5.3 水素炎イオン化検出器(FID)用ガス .....	3
6. 器具 .....	3
6.1 抽出器具 .....	3
6.2 熱分解/ガスクロマトグラフ装置 .....	3
7. 手順 .....	4
8. 結果の解析 .....	4
9. 試験報告書 .....	4
解 説 .....	30

# ゴム—熱分解ガスクロマトグラフ法による同定 (単一ポリマー及びポリマーブレンド)

## Rubber—Identification of polymers (single polymers and blends)— Pyrolytic gas chromatographic method

**序文** この規格は、2003年に第1版として発行された ISO 7270-1:2003, Rubber—Identification of polymers (single polymers and blends)—Pyrolytic gas chromatographic method を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

**警告** この規格の利用者は、通常の試験室での作業に精通しているものとする。この規格は、その使用に関連して起こるすべての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な処置を取らなければならない。

### 1. 適用範囲

**1.1** この規格は、生ゴム、加硫配合ゴム又は未加硫配合ゴムに含まれるポリマー又はポリマーブレンドを同一条件下で得られたパイログラム（熱分解ガスクロマトグラム）から同定する方法について規定する。この規格は、単一ポリマー又は例外として次のポリマーブレンドの定性に適用する。

この方法は、単一ポリマーに適用するが、4.に示すようにパイログラムが特徴的な炭化水素の存在を示すときには、ポリマーブレンドにも適用することができる。この方法は、他の種類のポリマーにも適用できるが、個々のケースごとに分析者が適用の可能性を確認しなければならない。

**1.2** この規格を用いるに当たっては、ガスクロマトグラフィの原理及び技術に対する十分な知識をもち、ここに規定する操作を行い、また、結果を正しく認識できることを前提とする。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 7270-1:2003, Rubber—Identification of polymers (single polymers and blends)—Pyrolytic gas chromatographic method (IDT)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年又は発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

JIS K 6229:1998 ゴム—溶剤抽出物の定量

**備考** ISO 1407:1992 Rubber—Determination of solvent extract が、この規格と同等である。

JIS K 6397:1997 原料ゴム及びラテックスの略号